



## 作品タイトル： 弦に棲む眼

《付喪神の元となった実物写真》



デザイン題材：ギター

《そのものへの想いを込めたデザインコンセプト》

長年大切に使われたギターには演奏者の想いや時間が蓄積され、やがて魂が宿るという付喪神の考えをもとに制作しました。恐ろしい妖怪としてではなく、音楽の記憶を宿した神秘的な存在として表現しています。

「物を大切に使い続けることで、そこには思い出や魂が宿る」という設定を元に考えました。



作品タイトル：今度は僕が背負うよ

《付喪神の元となった実物写真》



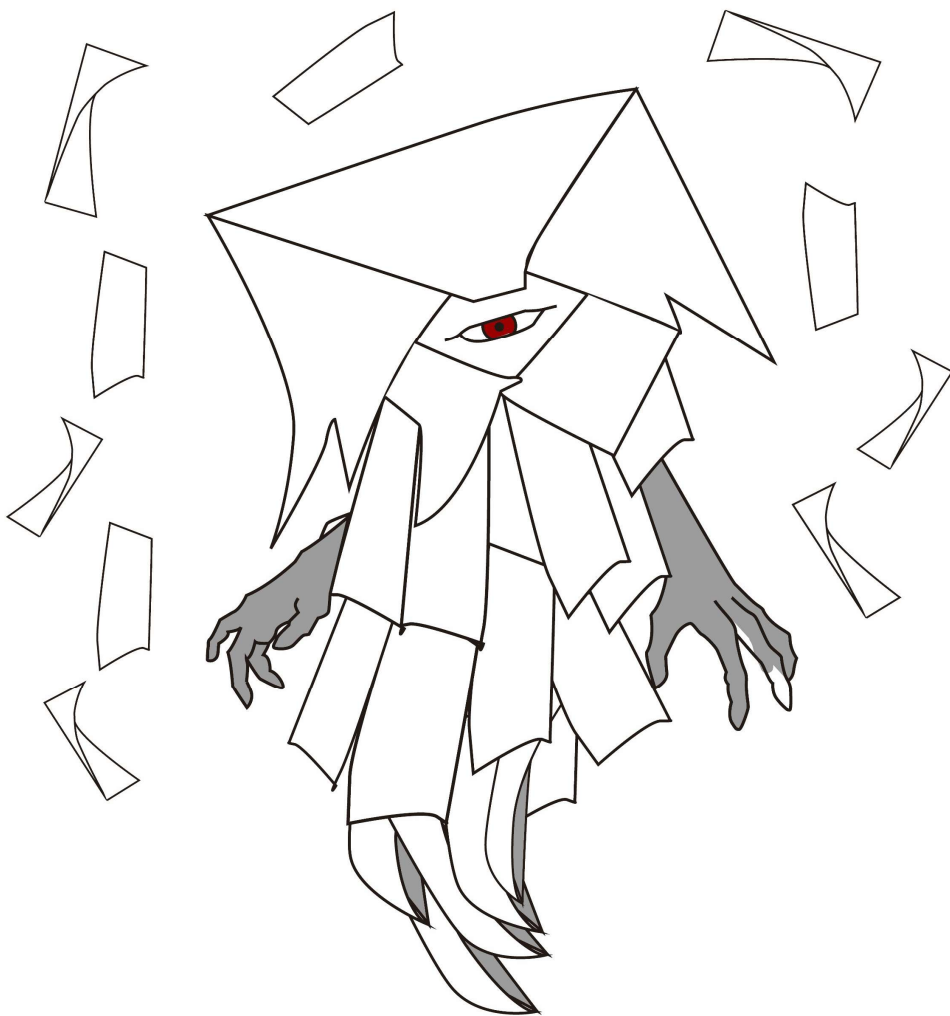
デザイン題材：ランドセル

《そのものへの想いを込めたデザインコンセプト》

6年間共に過ごしてきたランドセル。

「ランドセルが歩いてくれたら楽なのになあ」

そんな幼い頃の願いを叶えにきてくれた付喪神です。



作品タイトル： 手神（紙）

《付喪神の元となった実物写真》



デザイン題材：忘れさせない記憶

《そのものへの想いを込めたデザインコンセプト》

5年ほど前にもらった友達からの手紙をモチーフにしました。  
中身を見ると当時の思い出がたくさん描かれていて環境、感情を  
思い出せるものでした。  
そんな沢山の要素を紙で表現して身体に張り付いて大きくなった  
妖怪をモチーフにしました。



作品タイトル： ミュージック

《付喪神の元となった実物写真》

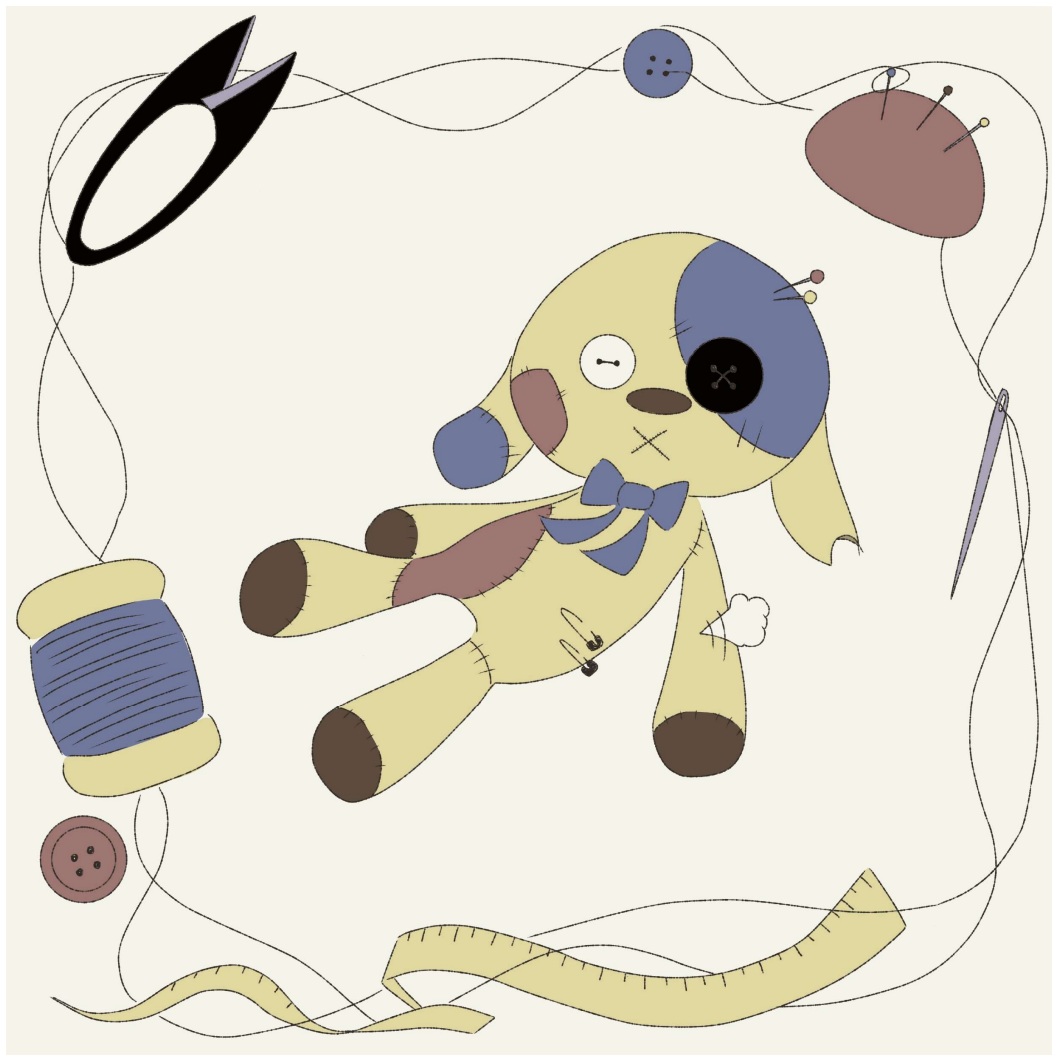


デザイン題材： ヘッドフォン

《そのものへの想いを込めたデザインコンセプト》

持ち主の感情に寄り添い続けたヘッドホンをモチーフに、音楽とともに過ごした時間や愛着を「魂」として表現した。シンプルな面構成で、静かな存在感を持つ付喪神を目指した。





作品タイトル： 裁縫の付喪神

《付喪神の元となった実物写真》



デザイン題材：裁縫道具

《そのものへの想いを込めたデザインコンセプト

修善跡やボタン、安全ピンなどの裁縫道具をモチーフに取り入れ、  
長く愛されてきた温かさを表現しています。

優しい色合いで、安心感やぬくもりを感じられる付喪神を目指しました。



作品タイトル： 妖怪眼鏡女

《付喪神の元となった実物写真》



デザイン題材： 眼鏡

《そのものへの想いを込めたデザインコンセプト》

約 10 年愛用している眼鏡です。

私にとって眼鏡は盾のような存在で、  
守られているような安心感があります。

きっと美人で気の強い付喪神が宿っているのでしょう。